会員生協の活動報告&予定案内

福井県 医療生協

「終活セミナー」 全5回講座終了しました

昨年夏に組合員ルーム「だん・だん」でスタートした終活セミナー (連続5回講座) が12月22日、無事終了しました。コロナ禍での開催のため、定員を8名、午後1時と3時の同日2回開催とせざるを得ず、講師の川畑勝也さんには大変お世話になりました。まず生前整理について、やり始めることの大切さを感じました。資産のあるなしに関わらず、取引銀行を二行までに絞り込むことはすぐにやったほうがよさそうです。インターネットサイトへアクセスするためのパスワードを相続者にわかるように記録しておくことも必要です。終末期はエンディングノートを活用して、自分らしい最期をむかえたい

人生の最期まで 支え支えられて生 きていくことの大 切さを感じさせら れる講座でした。

と思います。



福井 県民生協

ハーツキッチンカーが活動スタート!!



ハーツキッチンカーは、①SDGs推進活動②健康をテーマにした講座やレシピの紹介 ③県民せいきょうの事業紹介を目的に、2020年10月活動をスタートしました。

10月20日に福井市鮎川にある「鮎川きらめき」(ヘルパーステーション)で開催された「よろず茶屋」への参加を皮切りに、11月には、坂井市ゆりの里公園での「坂井市プチ家族デイ」や、あわら市吉崎地区での「子ども食堂テンプル食堂よしざき」へ参加しました。現在は、エシカルクイズで商品の試食や紹介などに取り組んでいます。

各単協のイベントに合わせてお伺いすることも可能 ですので、お気軽にお問合せください。





福井大学 生協

福井フェア開催!

福井大学生協では大学の期末試験の期間の1週間、ふくいの食材を使った料理を

食べてもらうため、「ふくいフェア」を開催しました。

越のルビーのソースをかけたチキンカツ、さくら豚のニンキー炒め、上庄里芋の芋煮、黒龍酒かすババロアなどを販売いたしました。

新型コロナウイルス感染症対策の一環で、期末試験自体も遠隔で開催する授業もあるとの事で、心配いたしましたが、全メニューで予定通りの計画数を販売する事ができました。特に人気だったのが、永平寺胡麻豆腐で、2日で計画数を売り切ってしまいました。

これから次の新入生を迎えますが、新しく福井に来た若者に、これからも福井の味をお届けできればと思っています。



菅浜生協玄関前塗装、 看板書き換え

菅浜生協玄関前の塗装を 行いました。

この壁に、生協役員の考案により、店舗案内看板を取り付けました。絵のデザインは清水理事長、田中監事のアイディアです。素晴らしい店舗案内板が完成しました。これにより生協利用客の増加を期待しています。役員の皆様、取り付けご苦労様でした。





福井県 学校生協

「教育支援プログラム 〜南極クラス〜」を 開催しました

学生協指定店「北陸ミサワホーム㈱」の協力による出前授業『教育支援プログラム~南極クラス』に11校の申し込みがあり、合計



700人の児童のみなさんが参加されました。

日本南極地域観測隊として昭和基地周辺の建物の設営・修繕を 担当した方が隊員の様子やオーロラ、ペンギンなど南極の自然の 様子、そして仲間の大切さやチームワークの大切さについて映像 を交え、未来を担う子どもたちに夢と希望の授業を行いました。

福井県生活協同組合連合会機関誌

ふくいの生物

福井県生活協同組合連合会

〒910-0842 福井市開発5丁目1603番地(県民生協本部センター内) TEL0776-52-8815 FAX0776-52-2050 Eメールアドレス kenren@fukuicoop.or.jp

2021年3月5日 No. 130

http://www.fukui.coop/kenren/

福井県生協連合会

検 索 🖟

冬季役職員学習会を開催しました





11月20日(金)、福井県民生協本部センターで冬季役職員学習会を開催しました。

JCA (日本協同組合連携機構) の青竹常務理事をお招きし、「コロナ禍での協同組合、SDGsの課題~今こそ協同組合アイデンティティの発揮~」と題してご講演頂きました。

コロナは社会的問題を先鋭化している一方で、助け合いの大切さを見直す機会になっており、『ウィズ·アフター・コロナ』では協同組合が主導になり「元気な地域づ

くり」が求められていることを述べられました。そして、SDGs時代の協同組合の役割は、絶えず自らの事業・活動について、誰も取り残さない、経済・社会・環境のバランスある発展を目指していくことにあり、協同組合の地域を支える事業と組織(参加と協同)によってSDGsイノベーションを起こせるのではないか、と締めくくられました。

続いて、福井県協同組合連絡会の4団体、JA福井県中央会・経済連、福井県漁業協同組合連合会、福井県森林組合連合会、福井県生活協同組合連合会から、現在の取

り組みや課題につ いての報告がありま した。

SDGsの達成に向けて、協同組合が果たす役割の大きさを実感する講演と学習会となりました。

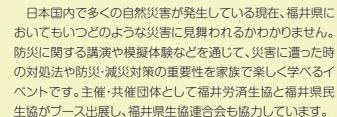


家族でたのしくまなぶ

「防災・減災フェア2021」が開催されます。

日時 2021年3月20日(土・祝)11:00~15:00

場所 ユニオンプラザ福井(福井市問屋町1-35)



※新型コロナウイルス感染症の状況によっては、開催を中止する場合があります。

主な企画

「アウトドア防災」、「家族でまなぼう! 福井の地震」

■体験・ブース企画

非常食ローリングストック展示(福井県民生協) サバイバル飯炊き体験(福井労済生協) ビニール袋でカッパ作り、ストローハウス作り、紙スリッパ作り

起震車体験、AEDなどの応急処置体験 福井県での過去の自然災害写真(パネル)展示

主催:福井県労働者福祉協議会、こくみん共済coop福井推進本部(福井県労済生協) 共催:福井県民生協、福井県生協連合会 他

会員生協のボランティア活動紹介

福井県生協連合会では、会員生協(組織または役職員・組合員)が行っているボランティア活動に対して助成金をお渡しし、活動を応援しています。



年越し生活支援食料無料配布を実施



コロナ禍で生活が厳しくなっている方が増えている中、医療生協ボランティア「たすけっとだん・だん」は、10月に続き年越し支援として食料等の無料支援に12月26日取り組みました。

今回は、福井市、市社協、

湊・東安居公民館、ほやねっとあたご・ほやねっと光、地蔵屋不動産、学園不動産、県民生協へ広報活動を行い、「ハーツ学園店」と福井市環境政策課よりフードドライブで集まった食料提供を受けました。6軒の組合員さんより野菜をいただき大根は80本以上にもなりました。当日は雨が降ったりやんだりの寒い中、開始予定の一

時間前より来場され、参加は全部で60名以上となりました。みなさんたくさんの食料から思い思いの品を見つけ、感謝のことばと共に大事そうに抱え雨の中帰って行かれました。





がランライア活動で

令和2年は、コロナウイルス感染拡大を受け、緊急事態宣言の 発令や外出自粛要請、営業自粛要請を受け、多くの人々の生活に 大きな変化が訪れました。私たちの緑苑自治会の活動もコロナウ イルスの影響を受け、地区体育祭や緑苑祭が中止となり、壮青年 会の活動も制限されました。

そんな中、唯一、公園内の花壇を使用した活動は継続することができました。暑い盛りの7月19日に季節の花々の植栽活動を行いました。当日は、同じ地区内の婦人会の皆さんにも参加していただき、植栽後の水やりなども協力いただきました。季節の花場は、12月中旬まで公園できれいに咲いており、緑苑公園を訪れる方々に元気と癒しを届けることができました。







中学生が 炭焼きを体験

10/29(木) 美浜中学校22名の炭焼き体験が行われました。最初に浜野健治さんより森の大切さ、炭焼きの歴史、炭ができるまでの過程につき説明があり、その後チェンソーによる木の切断、薪割り・コースター作り、機械による樹木の切断、炭材の窯入れを4班に分け体験しました。

体験後は浜野さん秘伝の猪入りの味噌汁を堪能し身も 心も腹一杯で帰られました。





2020年12月 フー**ドドラ**イブ(E 取り組みました

県民せいきょうでは、誰ひとり取り残さないSDGs理念の実現に向けて、「フードバンク・フードドライブ」による生活困窮者や子ども食堂への支援活動を行っています。

フードドライブは、年2回、ハーツ10店舗と奥越の2介護施設きらめきで実施し、組合員や地域の方



から家庭で余っている食料品を寄付していただきました。 昨年12月は鯖江市との共同企画が実現し、ハーツさばえ・ 神中と一緒に、鯖江市役所など4カ所でフードドライブを実 施しました。県民せいきょう全体で2,700点、米440kgを超



える食品が集まり、寄付された食料品の日付点検や整理を職員、組合員の協力を得て行い、地域の自治体、社協、子ども食堂など13団体に提供していきました。

福井県協同組合連絡会・視察研修に参加しました

2020年11月13日(金)

- 場所美浜町日向漁港
 - ●日向へしこ工房「勘兵衛」
 - ●美浜町漁協協同組合直営 「ひるが海上釣堀」

福井県協同組合連絡会(JA福井県中央会・経済連、漁連、森連、生協連)では、毎年各協同組合の施設を視察しながら交流を図っています。今年は福井県漁業協同組合連合会の関係する施設を2箇所視察・体験しました。

1箇所目は、福井が誇る食文化「へしこ」の製造現場。美浜町でも人気の「勘兵衛」さんの「日向へしこ工房」を視察。塩漬けとぬか漬け、調味料を合わせて漬け込み夏の土用を超し、半年以上発酵熟成させます。1樽で約90匹の鯖を仕込むそうで、夏の発酵と冬の寒さがポイントだとか。乳酸菌発酵で雑菌がなくて腐りにくい(賞味期限は半年)、正に保存食。塩分も7%程度に抑えています。現在はほとんどがノルウェー産の鯖を使用。身の色がきれいで脂があり、柔らかいのが特長だそうです。国産鯖で製造しているところもあるよ

うですが、身が赤黒くなり見た目が悪いということで、現在は 少ないそうです。

2箇所目は、日向漁港の水揚げを見た後、隣にある美浜町漁協直営の「ひるが海上釣堀」に。運営の概要説明と実際の投げ釣り体験をさせていただきました。底引きで獲れたはまちや鯛を、釣堀で釣ることができます。入園料は大人(中学生以上)3,700円、子供2,600円で、別料金で貸し竿(500円)もあります。釣りをやったことのない人にも親切に教えていただきました。小さい魚でも引きの強さが凄い。関西からのお客さんが多いようですが、コロナの影響もあり、例年に比べ少ないとか。近くに行った際はぜひ一度体験してみてください。





▲ 「勘兵衛」 さんの 「日向へしこ工房」

収集ボランティアに ご協力ありがとうございました



ボランティア月間で収集された使用済み 切手・ベルマーク・外国コインは、福井ボラン ティアセンターを通じて次の団体に寄贈さ れ、役立てられています。

また、書き損じ葉書は福井県内の福祉施設法人へ寄贈しています。



- ①NPO法人 誕生日ありがとう運動本部 http://tanjyobiariga10.web.fc2.com/ 活動内容 知的ハンディキャップ問題の社会啓発活動
- ②公益財団法人 ジョイセフ(家族計画国際協力財) http://www.joicfp.or.jp/

活動内容 開発途上国への人口・家族計画・母子健康に関する 研究および研究助成・援助活動 ③公益社団法人 日本キリスト教海外医療協力会(JOCS)

http://www.jocs.or.jp

活動内容 アジアやアフリカなどの保険医療が 十分でない地域への協力活動

4 ユニセフ

https://www.unicef.or.jp 活動内容 世界の児童の健全育成

